

# 魅力ある近畿をつくる、多彩なプロジェクト。

近畿地方整備局では、長らく日本の政治・経済・文化の中核圏域として蓄積してきた歴史、文化、伝統を活かしつつ、それぞれが特有の個性を持つ地域で構成されている近畿を、「近畿はひとつ」の理念のもとに結集して総合力を発揮し、都市の再生、身近な自然との共生、国際交流の伝統を活かした多文化との共生を図りながら、文化の香り高く、にぎわい、活力にあふれた元気あふれる魅力的な地域づくりを目指します。

## 円山川再度災害防止及び河川環境の再生

平成16年10月の台風23号で被災した円山川流域では、再度災害防止のための整備と多様な生物の生息・生育環境の整備により、コウノトリも共生する河川環境を目指した川づくりを進めています。



## 由良川再度災害防止のための整備

平成16年10月の台風23号で被災した由良川流域では、地域と連携を図りながら由良川下流部緊急水防災対策を実施し、再度災害防止を図っています。



## 京都縦貫自動車道

京都縦貫自動車道は、京都府宮津市から久御山町までの高規格幹線道路で、4つの道路区間により構成されています。京都府内全域での移動時間の短縮および大阪・神戸や名古屋までの広域的なつながりを強化します。



## 阪神港スーパー中枢港湾

「国際物流戦略チーム」の取り組みの一環として、世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準を実現するため、神戸港・大阪港において次世代高規格コンテナターミナルの整備を推進します。



## 大阪港夢洲トンネル

海上物流ネットワークと陸路交通網との有機的な連携により効率的な物流体系を形成し、円滑な物流の確保等を図ることを目的に、夢洲～咲洲を結ぶ臨港道路（夢洲トンネル）の整備を推進します。



## 高規格堤防整備事業

人口・資産が高度に集積した大都市の壊滅的被害を防ぐために市街地整備と一体になった高規格堤防整備事業を推進します。平成19年度は都市再生プロジェクト関連の大和川線地区等において関係機関と連携し整備を推進します。



## 大阪港湾合同庁舎の耐震改修

東南海・南海地震等に備え、防災拠点施設としての役割を担う官庁施設を、大地震時にも人命の安全確保に加え、十分に機能を発揮できるよう、施設整備を推進します。



## 紀の川大堰建設事業

既設の新六ヶ井堰の部分撤去と併せて河床掘削などを実施することにより洪水を安全に流下させるとともに、新たな水道用水の確保や既得用水の安定取水確保などを図ります。



## 中部縦貫自動車道

長野県松本市を起点に岐阜県高山市を経て福井市に至る延長約160kmの高規格幹線道路で、中央自動車道、長野自動車道、東海北陸自動車道、北陸自動車道と一体となって広域ネットワークを形成する道路です。



## 足羽川ダム建設事業

足羽川、日野川、九頭竜川の下流域の洪水被害軽減を目的として、福井県池田町に洪水調節専用ダムの整備を進めています。



## 栗東水口道路Ⅱ

滋賀県甲賀市から大津市を通過する国道1号の交通混雑を解消するためのバイパス道路。平成19年度に一部開通予定となっています。



## 第二京阪道路等の整備の推進

交通渋滞が要因となる時間損失による経済活動の低下や沿道の環境悪化の緩和に向け、平成19年度は引き続き第二京阪道路をはじめとする、地域高規格道路等の整備を進め、都市圏の渋滞対策を推進します。



## 京奈和自動車道

京都・奈良・和歌山を結ぶ高規格幹線道路で、各地域との相互ネットワークを形成し、近畿大都市圏での時間短縮を図るとともに拠点都市の連携強化を図る役割を担っています。



## 人と歴史と自然が調和した公園整備

国営飛鳥公園では、文化的遺産の保存・活用を図る目的でキトラ古墳周辺地区を中心とした整備と、適正な維持管理を行っています。キトラ古墳周辺地区は、平成27年度の開園を目指し整備を進めています。



## 近鉄奈良線連続立体交差事業

市街地の分断や踏切による道路交通阻害を解消するため、高架化を図る連続立体交差事業を実施し、9箇所の踏切を脱却。都市内交通の円滑化により、地域の活性化を図ります。



## 大阪都市再生環状道路

大阪都市再生環状道路は都市再生プロジェクトとして位置づけられています。都心部に集中する交通の分散導入等、環状道路の機能を利用し、都心部の円滑な交通の確保を図り、阪神高速道路との一体整備を進めています。



## 緊急輸送道路・那智勝浦道路の整備

和歌山県新宮市から那智勝浦町にいたる高規格道路で、東南海・南海地震発生時の緊急輸送道路として機能するように、津波の影響の無いところに計画しています。

